
通級による指導

1. 学校・家庭・関係機関との連携
2. 自立活動を行うにあたっての
担当者の視点

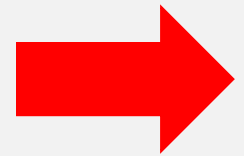
10月16日(金) 鹿児島県
薩摩川内市立亀山小学校
LD・ADHD等通級担当 池水 晃

令和8年度 巡回型通級指導教室 巡回校分布図



薩摩川内市

甕島



1. 学校・家庭・関係機関との連携

2. 自立活動を行うにあたっての
担当者の視点

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

子どもを取り巻く多くの人たちとの連携



【担任】
連絡帳
実態把握アンケート
教育相談

【保護者】
連絡帳
教育相談
電話連絡

【管理職】

【支援員】

【支援学級】

【療育センター】

【専科】

【養護教諭】

【前担任】

【コーディネーター】

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(Ⅰ) 担任の先生との連携



通級担当

在籍学級担任

子供のよさ・課題
頑張っていることの共有

情報交換の時間を
年度初めに相談

UD等の手立ての**共有**
教材・教具の**提供**

在籍学級の指導方法を
通級で活用

I 学校・家庭・関係機関との連携について

(I) 担任の先生との連携 ～実態把握アンケート～

○ 課題は青の下線

○ よさは赤の下線

◇ お子さんのことについておたずねします。現在一番気になっていることに☆印をつけてください。

項目	心配なことや気になられることがありましたら、お書きください。	
学習面	読み（音読、読み取り）・書き（平仮名、漢字）・計算 <u>小さな字が苦手</u> <u>知らない時、手あそびにリキョロキョロしてしまいう</u> ↓ <u>4年生の学習が1人1人難しいなって、頑張る、理解しようとはしている。</u>	
生活面	生活リズム <u>早寝 早起きの習慣がついているが、すぐ昼寝してしまうのが気になる</u>	
行動面	<u>うっかりミス、忘れものが増えてきた</u> ADHDの検査を受けようと思っ、ています。学校側にも伝えてあります。	
コミュニケーション	テンションが高いのか、新学年になって <u>お友達と数回トラブルがあった</u> <u>5月に入って落ち着いてきたように感じる</u>	
その他	◇たんぼほルームに望むことをお書きください。 本年度も よろしくお願ひします。	◇ご家庭で気を付けていることがありましたら お書きください。 毎日 <u>レッカリ</u> 言葉を <u>聞くようにしています</u>

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(Ⅰ) 担任の先生との連携 ～通級授業前の様子の観察～



Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(Ⅰ) 担任の先生との連携 ～通級授業後の情報共有～

9月 9日 月曜日 第 10 回	
通級指導教室から	活動内容 ① 準備&はじまりの会 ② 夏休みの生活について ③ プレイルーム ④ 2学期の目標 本日は、2学期最初のたんばばルームの授業でした。まず、①の学習で夏休みの生活を振り返りました。福岡のおじいちゃん、おばあちゃんのところに行ったことや映画コナンを見たこと、友達と遊んだことなど多くの思い出ができたようでした。 また、宿題も自分のペースでどうにか終わらせることができたということでした。(実際、どうだったかも、また、教えてください)2学期は、自分のことについて振り返りながら、また、得意を伸ばし、課題を克服できるように計画していこうと思います。
各学校から	(学校での様子・連絡) 夏休み いよいよお過ごしでした。玄玄に代わり、子どもたちは学校や始。既覚て取り戻すのい苦節にいたようです。 記入日(9/9)
家庭から	(家庭での様子・連絡) 連絡帳 おきくなりもうれずめりません。2学期も、おれおれいします。夏休みのリズから、ぬいもののり、土曜の休みのり、おれいを見る時間、宿題の時間など、毎日話合いです。なんくるきには、はいはいおれいと思いいやから、えせんやります。おれお話を聞いていおれいすから、さいいです。 記入日(9/29)
次回の通級日 9月30日(月) 5校時 ※ 来週、再来週と休みになります。	



I 学校・家庭・関係機関との連携について

(I) 担任の先生との連携 ～背景要因の確認～

● とりあえぬ「はい」という。⇒ 1対1のときは分らないことは分らないと言えるスキルが大切!

● まうち ⇒ 言語指導 → しゅうじい.

「かたかた」⇒ 読み

1月生まれ.

● はみきおめで遊ぶ。

● 刺激をいれ始めている。
↳ そうめんもふりまわす。

● ないといけないう。

● 前もあいていもあいてい。

④ コミュニケーション → で伝えられない。

言葉・語いかな? 表現力は? 理解力は? ⇒ 実態を見るプリント

⑤ 書く指導も必要?
↳ センター・バサミ・バサミ
小さな丸(0)のぬりつぶし
目とおへそと

② 授業と自活をつなげる。 ⇒ 入りこみ通報 ⇒ 入りこみ通報 ⇒ 6月3?

① 指示を聞く。 ⇒ 一斉指導の指示にいかにつなげるか。

活動 (原因)

② 集中力

(1) 興味のあるものにしゅうどう的にいく? → 板書や掲示物等の刺激を減らす。

(2) 1月生まれ 個人のゆかさという実態? → 言い続け成長を得つ、保護者と連携

(3) ...

③ 姿勢のくずれ (原因)

(1) 体幹の弱さ? → バランスボール

(2) 授業が分からなくてのやる気のなさ? → 体幹トレーニング

(3) くせ、習慣? → 質問するスキル・聞く力、聞く態度

④ ...

⑤ ...

⑥ ...

⑦ ...

⑧ ...

⑨ ...

⑩ ...

⑪ ...

⑫ ...

⑬ ...

⑭ ...

⑮ ...

⑯ ...

⑰ ...

⑱ ...

⑲ ...

⑳ ...

㉑ ...

㉒ ...

㉓ ...

㉔ ...

㉕ ...

㉖ ...

㉗ ...

㉘ ...

㉙ ...

㉚ ...

㉛ ...

㉜ ...

㉝ ...

㉞ ...

㉟ ...

㊱ ...

㊲ ...

㊳ ...

㊴ ...

㊵ ...

㊶ ...

㊷ ...

㊸ ...

㊹ ...

㊺ ...

㊻ ...

㊼ ...

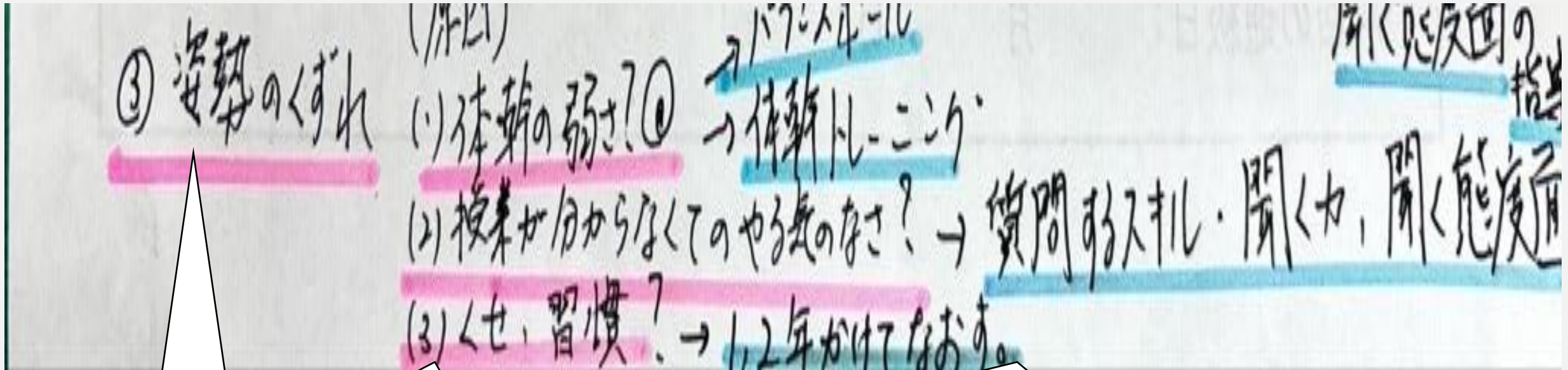
㊽ ...

㊾ ...

㊿ ...

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(Ⅰ) 担任の先生との連携 ～背景要因の確認～



姿勢のくずれ

- (1) 体幹の弱さ?
- (2) やる気のなさ?
- (3) くせ、習慣?

- (1) バランスボール・体感トレーニング
- (2) 質問するスキル, 聞く力・態度面の活動
- (3) 1・2年かけて修正する。家庭との連携。

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(Ⅰ) 担任の先生との連携 ～個別の指導計画～

【通級指導教室での長期目標】

- ノートを上手にまとめる。
- 落ち着いて行動できる。

【学級での長期目標】

ノートに板書を写す際の
ルールを確認し、ルールブック
を作る活動を行う。

令和7年度 個別の指導計画

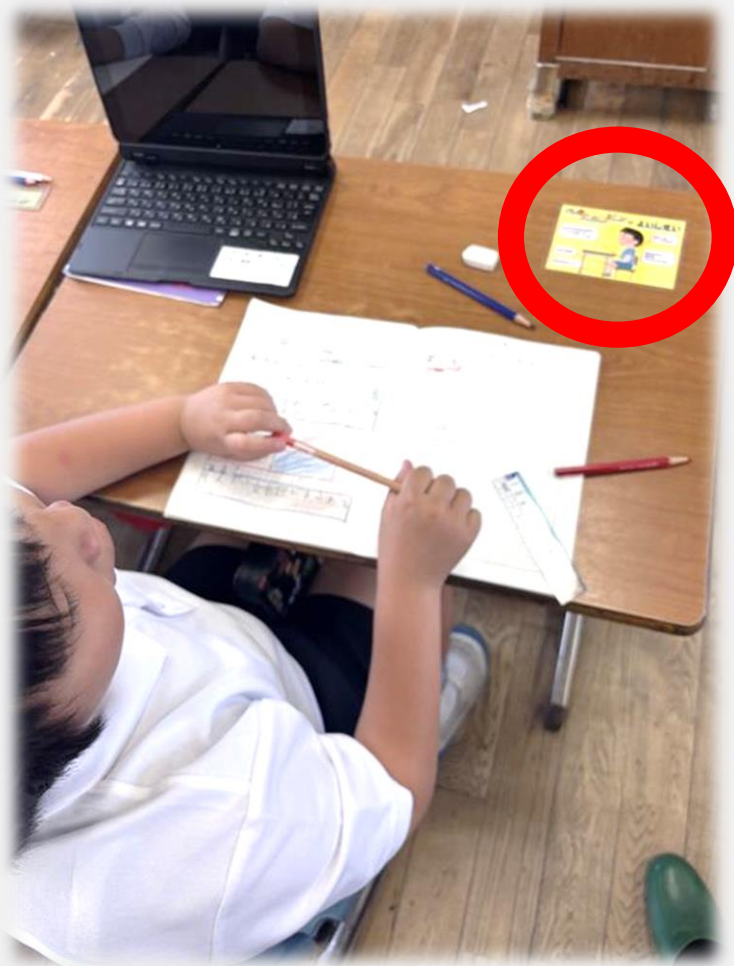
薩摩川内市立 龜山小学校 LD・ADHD 等通級指導教室

記入者氏名(池水 晃)

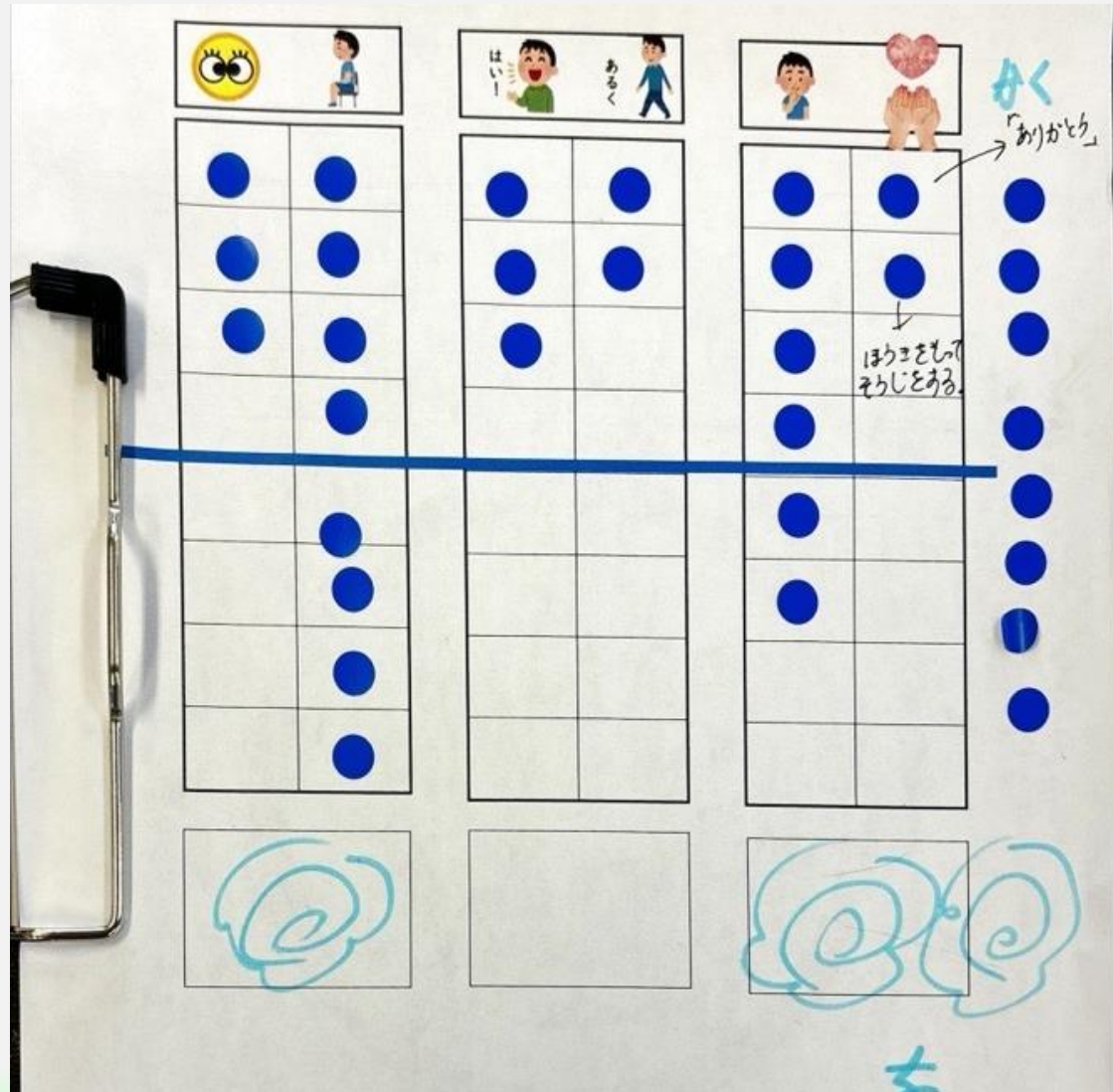
ふりがな		姓	名	在籍学校	薩摩川内市立大東小学校 3年
氏名	星平 晴乃佑	生年月日	平成27年 8月 23日		
本人の願い		学習意・継続意		合理的配慮	
☐ 自分の気持ちや考えを伝えられるになりたい。 ☐ 漢字を書くことができるになりたい。 ☐ 音読がすらすら読めるになりたい。					
保護者の願い		子どもの実態			
☐ 漢字の書き取りができるようになってほしい。 ☐ 文章を上手にまとめることができるようになってほしい。 ☐ 衝動的な行動を抑制できるようになってほしい。 ☐ 板書を上手にできるようになってほしい。		☐ 漢字の書き取りが難しい。 ☐ 文章を自分の言葉でまとめることが苦手である。 ☐ 板書がうまくいかないことがある。 ☐ ノートを上手にまとめられない。 ☐ 集中力が続かない。 ☐ 手が出たり、思ったことをそのまま伝えたりしてしまうことがある。 ☐ 気持ちのコントロールがむずかしいことがある。 ☒ サッカーが得意である。 ☒ 理解すると自主的に授業を進める。			
担任の願い					
☐ ノートを上手にまとめられるようになってほしい。 ☐ 座学が続く集中力が続かない。 ☐ 気持ちのコントロールができるようになってほしい。					
指導計画 (指導期間:令和7年4月15日～令和8年3月25日 指導時数:週1時間 年間指導時間 時間)					
長期目標	☐ ノートを上手にまとめることができる。 ☐ 感情をコントロールしながら、落ち着いて行動することができる。				
短期目標	☐ 板書を時間内にノートに写すことができる。				
目標					
短期目標・指導内容			指導の評価・所見		
1. アウトプットを意図するように指導することで、漢字の字					

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(Ⅰ) 担任の先生との連携 ～教具の共有～



(1) 担任の先生との連携 ～称賛シート～



入り込み型の授業の際には、このような通級で使っているシートで称賛しながら、学級の中でもできていることをシールで称賛する活動を行った。

担任の先生が机にこの称賛シートを貼り、学級でもできていることを可視化する手立てをとってくださっている。

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(Ⅰ) 担任の先生との連携 ～通級指導教室の授業参観～



Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(1) 担任の先生との連携 ～指導記録用紙～

指導記録用紙		黄色の網掛け今回新しく行ったことや次回新しく行うこと。		
指導年月日	R7年 7月 7日(金) 児童氏名(山内 陽翔)	担当の目標	子供の目標	実際(評価)
指導項目及び内容	指導事項			
★ 準備・はじまりの会 《5分間》 1 問題を解こう 《10分間》	問題のときかたを視覚的に示す。 (1) 聞かれていることに○をする。 (2) 答えを探す。 (3) 答えの箇所に線を引く。 (4) 答えを書き込む。 →説明しながら解く 【目的】○断裁力の向上 ○問題の解き方の習得 ○分かっていることの把握	1 ①1問の3分で解く。 ②(1)～(4)を実践できる。 ③やっていることを説明できる。	1 6分で2問解く	1→○ ①1問2分半 ②実践できた。 ③説明の仕方が分からない。
2 冬と言えば? 《10分間》 ① 千支について ② 冬に関する言葉	冬にある行事や物、風物詩などを出し合い、季節を感じる事ができるようにする活動 ① 千支に関すること(12匹の動物や「十二支」や「千支」という言葉の習得) ② 冬に関する言葉の習得(断裁力の向上)	2 ①順番に言える ②風船パレーをしながら言える。	2 ①12匹言える ②風船パレーを7ラリーできる。	2→○ ①12匹言えた ②7ラリーできた。
3 SST 友達との関わり 《10分間》	※ 情報収集(未達は入れる) 【授業中の砂いじり】 次回 歩き方について、ラダーを活用して、足をあげる感覚を身に付ける。	3 ①SST のやり方が分かる ②砂いじりをしている役(池水)に理由を付けて、注意できる。		3→△ ①△ ②何と言っているかわからない
4 体の動かし方				
5 正月の遊び ⑤	こま回しをしながら、 ①正月の遊びに触れる。 ②指先の力を入れる練習をする。 ③コマを回す順序を覚え、実践する。 ④うまくいかないときの気持ちの切り替えを行う。 【準備】 □気持ち切り替えレンジャーカード □図鑑プリント □けんだま、だるまおとし、かるた、コマ回し	5 ①粘り強く取り組む ②ひもを巻くことができる ③順序を覚える ④うまくいかないときは深呼吸		5→○ ①○ ②○ ③○ ④△

授業補足	●→○ハンカチ・ちりがみがポケットに入っていた。 ●身なりを整える(ボタン・襟・袖) ●→○自分の気持ちを言う際に、「～なので、○○という気持ちです。」の語彙がなくても言えた。 ●足を地面に擦って歩く。(ひざの使い方がよくない。日頃の姿勢。)→次回、ラダーの活用 ○1日(ついたち)～20日(はつか)まで覚えていた。
長期目標 児童実情 家庭情報	○気持ちや行動のコントロール【2 心理的な安定】【3 人間関係の形成】 ○友達との適切な関わり方【3 人間関係の形成】【6 コミュニケーション】 ○質問や指示、文章読解等の意味理解【4 環境の把握】【6 コミュニケーション】 ○姿勢の保持(座位・体育座り)や体の動かし方(歩行)【5 身体の動き】

【できるようになったこと】

- 季節の順番を言える。 ○ 理由を先に伝えた後に、気持ちの順番を言える。
- トイレの仕方(おしりを出さない)。 ○ 十二支を言える。
- 1日～20日までの特殊な言い方を覚える。 ○ 冬の手紙を30個言える。

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(Ⅰ) 担任の先生との連携 ～指導記録用紙～

授 時	業 事	補 課	足 題	●→○ハンカチ・ちりがみがポケットに入っていた。 ●身なりを整える(ボタン・襟・紐) ●→○自分の気持ちを言う際に、「～なので、○○という気持ちです。」の語型がなくても言えた。 ●足を地面に擦って歩く。(ひざの使い方がよくない。日頃の姿勢。)→次回、ラダーの活用 ○1日(ついたち)～20日(はつか)まで覚えていた。
長 見 家	期 査 處	目 実 情	標 準 報	○気持ちや行動のコントロール【2 合理的な決定】【3 人間関係の形成】 ○友達との適切な関わり方【3 人間関係の形成】【6 コミュニケーション】 ○質問や指示、文章読解等の意味理解【4 環境の把握】【6 コミュニケーション】 ○姿勢の保持(座位・体育座り)や体の動かし方(歩行)【5 身体の動き】

【できるようになったこと】

- 季節の順番を言える。 ○ 理由を先に伝えた後に、気持ちの種類を言える。
- トイレの仕方(おしりを出さない)。 ○ 十二支を言える。
- 1日～20日までの特殊な言い方を覚える。 ○ 冬の言葉を30個言える。

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(2) 養護教諭との連携 ～SST トイレを失敗したら～



「トイレを失敗した後に、どうしたらよいか分からず、固まってしまう。」という実態がある児童に、SSTで授業を行った。

さらに、その後、養護教諭に時間を作っていただき、失敗したら、保健室まで行き、状況を説明したらよいことを体験させた。

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(3) 専科との連携 ～おちついた行動を～

① 落ち着いた行動おとつか

③ 言葉の使い方 (100%) → ③

→ 声の大きさ

・高い方をとてつた方ありま といふある。下

・友達の書いた文章を読んでみる。みえふたつ。やわら。

① 発表を聞いて笑った。正正(56%) 正下 (44%)

・新しい朝が来た。発表を聞くとときは静か。閉=終わ。正正正

・友達のラブレター。→ 雑に荷物を入れてしまった。拍子

・初朝の際、歩いてきた。おぼろしい感想

・感想を書き終えたとき、静かに書いていた。ICTが大好き?

・友達がおとうとしたとき、静かによけた。A 最後まで聞くか。

・担任の先生が話すとき、これに大きな声で発言。→ 友達の話を聞いて正正正

・友達が発表しているときに自分のロケをいじる。発言。

・友達が発表しているときに自分のロケをいじる。発言。

③ 言葉の使い方 正正

・ラブレターを注意されたとき。遠くよもとからとちやとちや

・声の大きさに注意。下 たったたんばよ、

→ 発表のフーモアはあふ。・ 終りのときに出た

・ 困っている友達を助けた。

その他の課題

通級での授業の目標を元に、専科の授業でも「落ち着きのある行動をする」「大きな声を出さない」などの目標を立て、実行できるかという入り込み型の自立活動を行った。

【落ち着けなかった行動の確率】

84%→68%→54%→74%

→34%→10%

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(4) 管理職及び特別支援教育支援員との連携



【管理職】



【支援員】

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(5) 保護者との連携

授業前後の情報交換



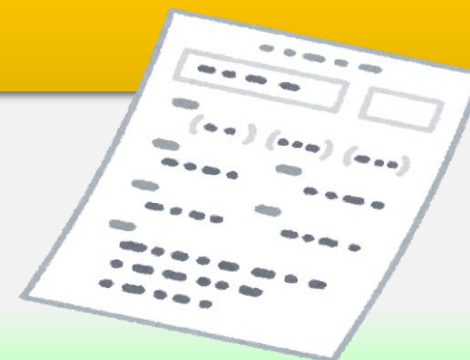
教育相談



連絡帳・電話



教室だよりの発行



Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(5) 保護者との連携 ～実態把握アンケート～

○ 課題は青の下線

○ よさは赤の下線

(入来)小学校(4)年()組 児童名(里平 晴乃佑)

在籍学級担任名	東屋敷 朋美	通級指導担当者名	池水
---------	--------	----------	----

下記の項目について、特徴的なこと(よさも含めて)や気になることなどがありましたら御記入ください。

1 児童の学習面について
4年生にひり、「やる気」が低下してしまっているのではないかな。
・次の授業の準備をしようとしていない。
・学習用具の忘れ物や紛失が多い。
・何に対しても面倒にやる。(文字や算数、金ひらぎで書く。
個別に声かけする時、なかなか聞かされようとしていない)

2 児童の生活面について
・授業中、休み時間ともに落ち着きがないソワソワしている。
・気分が落ちた時に奇声を発することが多い。
・担任が話をしてあげると、聞かれない。
・教室活動で整列の時も、常に友達にちがいを示して(やり)

3 児童のコミュニケーション面について
・友達とのトラブルが頻発している。(自分からいじめを仕掛けて、友達から指摘されることも増えてきている)
・休み時間、3年時はクラス友達とトランプやボールを(て遊んでいたように、4年生にひり、最近では友達と(トランプやボールを遊んでいるように)

4 通級指導で伸ばしてほしいこと
① 友達との関わり方。状況に応じて言葉づかい。
② 自分の良さに気づき、自己肯定感を高めてほしい。
③ 少しい時間でも、学習に集中できるようにしてほしい。

5 要望・質問など
・新年度がスタートし、1ヶ月経とうとしているが、晴乃佑さんとの関係がうまく築けていないところ、悪循環になってしまっているように感じています。何とかして、教示いただければ幸いです。
・4年生に、もう1人、通級を希望している女児がおります(3年時より)。どのような手順で、進めたいかは、良いか教えて下さい。

御協力ありがとうございました

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(5) 保護者との連携 ～連絡帳～

しゅっせき だいし
出席シール台紙

						合計
9月	●					
10月						
11月						
12月						

9月 9日 月曜日 第10回

活動内容 ① 準備はじまりの会 ② 夏休みの生活について ③ プレイルーム ④ 2学期の目標	本日は、2学期最初のたんばルームの授業でした。まず、①の学習で夏休みの生活を振り返りました。福岡のおじいちゃん、おばあちゃんのところに行ったことや映画コナンを見たこと、友達と遊んだことなど多くの思い出ができたようでした。 また、宿題も自分のペースでどうにか終わらせることができたということでした。(実際、どうだったかも、また、教えてください)2学期は、自分のことについて振り返りながら、また、得意を伸ばし、課題を克服できるように計画していこうと思います。
通級指導教室から	
各学級から	(学校での様子・連絡) 夏休みいよいよお過ごしでしたい? 玄さんに任せ、子供たちは学校で始まりました。感覚を取り戻すのに苦労していたようです。記入日(9/9)
家庭から	(家庭での様子・連絡) 連絡帳お見くなりもうしわけありません。2学期も、お疲れさまでした。夏休みのリズミで、毎日お話ししています。ほんのりお話ししています。記入日(9/29)
次回の通級日 9月30日(月) 5校時 ※ 来週、再来週と休みになります。	

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(5) 保護者との連携 ～トークンエコノミー～

1. はみがき (1)分 (45)びょう	
2. 着がえ (1)分 (37)びょう	
3. ランドセルのじゅんび (4)分 (7)びょう	
4. 顔をあらう (1)分 (45)びょう	
5. ごはん (5)分 (58)びょう	
6. はみがき (2)分 (27)びょう	

7/2が指導者親になりきる。特		
6月18日		
通級指導教室から	活動内容	
	①読み方名人	時計
	②漢字マスター	読み
	③黒板を早め	読み
	④計算マスター	読み
	★時計	のり
		す際
各学級から	(学校での様子・連絡)	
	森先生は出	
家庭	(家庭での様子・連絡) 家で	

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

(6) 療育センターとの連携



OTやSTによるより詳しい
情報を共有できる。

【鹿児島県こども総合療育センター】

Ⅰ 学校・家庭・関係機関との連携について

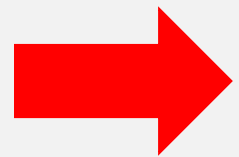
(7) 療育施設との連携



- お互いに行っている活動の情報を共有できる。
- 指導・支援の方向性をそろえることができる。

地域の療育施設

1. 学校・家庭・関係機関との連携



2. 自立活動を行うにあたっての
担当者の視点

2 自立活動を行うにあたっての担当者の視点

(1) 自立活動とは

特別支援学校教育要領・学習指導要領「自立活動編」より

- 個々の児童または生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

2 自立活動を行うにあたっての担当者の視点

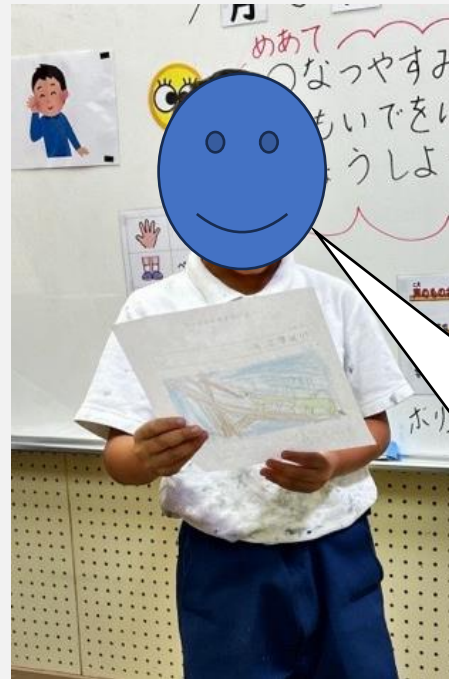
(1) 自立活動とは

- ① 自分の強みをさらに伸ばす。
- ② 自分の弱み（苦手なことや困っていること）を改善・克服する。
- ③ 自分の強みを使って、弱みをカバーする。
- ④ 自分のもっている力を認識する。

2 自立活動を行うにあたっての担当者の視点

(1) 自立活動とは

① 自分のナイスなところをさらに伸ばす。



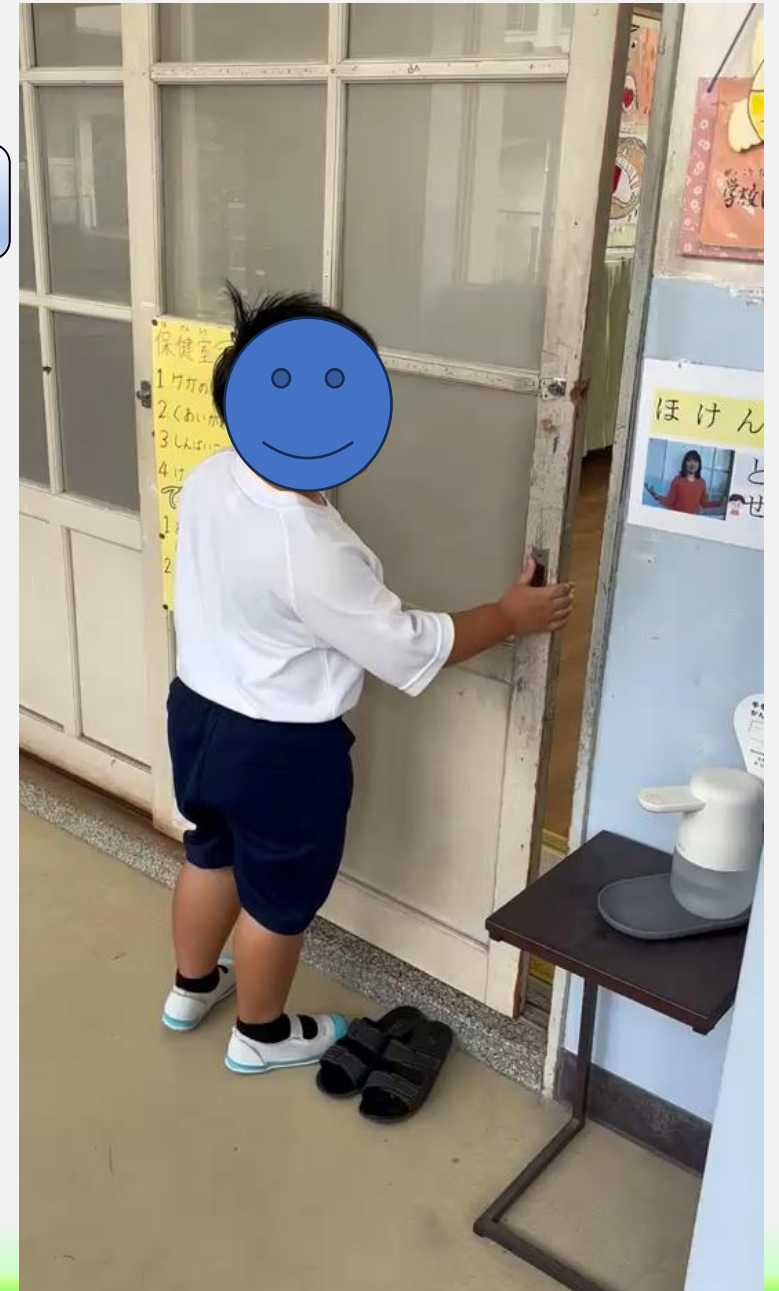
ぼくは、得意な絵を描くことを生かして夏休みの思い出を発表するぞ！

2 自立活動を行うにあたっての担当者の視点

(1) 自立活動とは

② 自分が困っているところを改善・克服する。

SST（ソーシャルスキルトレーニング）を行い、失敗した際に、どのように行動したらよいかを練習した。



2 自立活動を行うにあたっての担当者の視点

(1) 自立活動とは

③ 自分の強みで弱みをカバーする方法を探る。

- 苦手なカタカナを大好きなポケモンで覚える。
- 集中力が続かないけれど、大好きなことなら何時間でもできる。
- 作文を書くのは苦手だけど、PCタブレットの打ち込みなら、すごいプレゼンを作ることができる。

2 自立活動を行うにあたっての担当者の視点

(1) 自立活動とは

④ 自分のもっている力を認識する。

できていることを
スキルをカード化し、
再度認識する。



2 自立活動を行うにあたっての担当者の視点

(2) 自立活動でできること



自立活動でできることは、
少しずつの成長を促すこと
ぐらいだと思っています。
例えば・・・

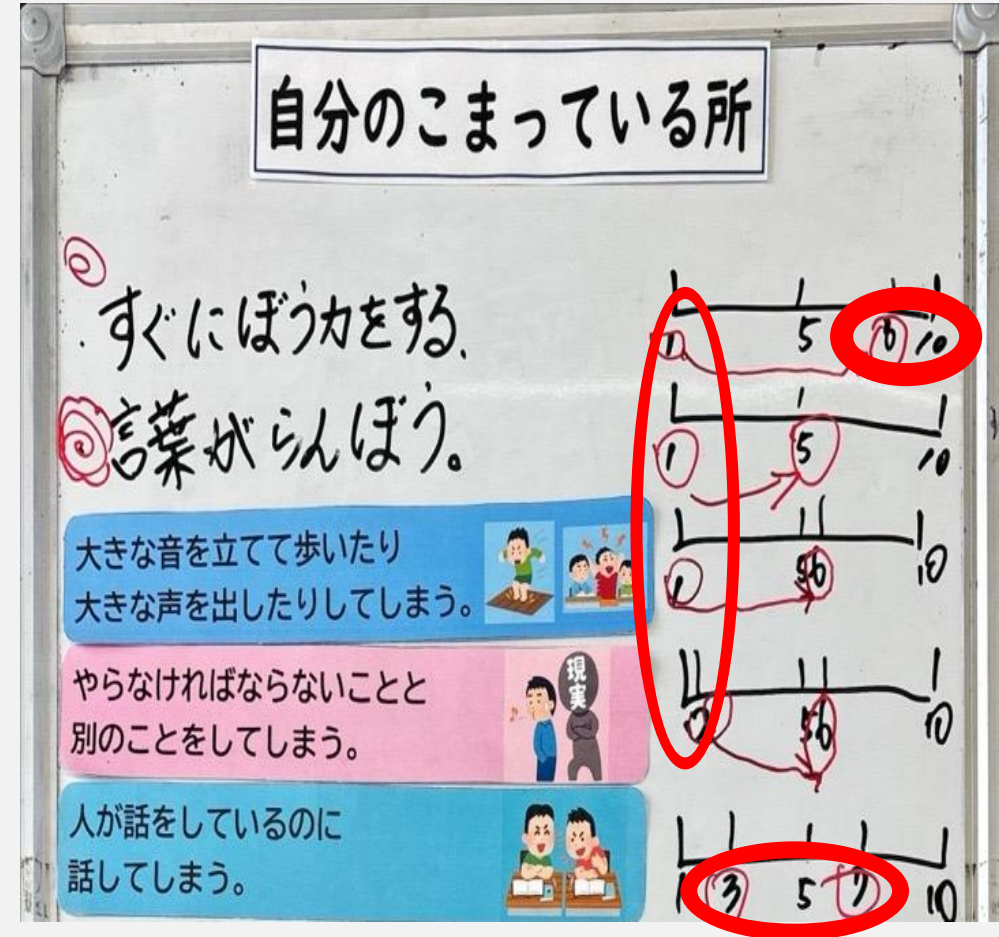
- 苦手なことに挑戦しようとする。
- ちょっとできることをもう少しだけできるようにする。
- できそうなことをできるようにする。

2 自立活動を行うにあたっての担当者の視点

(2) 自立活動でできること

- 苦手なことに挑戦しようとする。
- ちょっとできることをもう少しできるようにする。
- できそうなことをできる。

合わせて
「得意を伸ばす」



2 自立活動を行うにあたっての担当者の視点

(3) 自立活動を行う際の視点①

○ 一般的に言われている視点+ α が大切である。

① トレーニング

② スキル獲得

③ 環境調整



☆ 自己肯定感を支える視点

2 自立活動を行うにあたっての担当者の視点

(3) 自立活動を行う際の視点①

○ 「聞き取ることが苦手」な例を通して

① トレーニング

例えば…

- ・ 聞くことが重要となるような言葉遊びをする。
- ・ 話の中から重要な部分を聞き取る練習をする。
- ・ 復唱, 聴写等をする。

2 自立活動を行うにあたっての担当者の視点

(3) 自立活動を行う際の視点①

○「聞き取ることが苦手」な例を通して

② スキル獲得

例えば…

- ・ メモ用紙や付箋紙を使って書き留めるスキルを身に付ける。
- ・ 話し手に「もう一度言ってください」と依頼するスキルを身に付ける
- ・ 友達に確認するスキルを身に付ける。

2 自立活動を行うにあたっての担当者の視点

(3) 自立活動を行う際の視点①

○「聞き取ることが苦手」な例を通して

③ 環境調整

例えば…

- ・ 聞き取りやすい環境の整備（テニスボールを机やいすの足に設置するなど）
- ・ 話し手が絵や具体物等の具体的な補助を工夫する。
- ・ 話し手が文字による指示を工夫する。

2 自立活動を行うにあたっての担当者の視点

(3) 自立活動を行う際の視点①

○「聞き取ることが苦手」な例を通して

☆ 自己肯定感を支える視点→全ての指導の根幹にある視点

例えば…

- ・ きちんと聞けていた場面を取り上げて褒めることで自信をもたせる。
- ・ 自分のよさを自覚し、肯定的な自己理解を進めていく。
- ・ 安心できる場所で、信頼できる大人から、自分自身が受け入れられる経験を積み重ねる。

2 自立活動を行うにあたっての担当者の視点

(4) 自立活動を行う際の視点

まず、 ①先生、友達とならでできる。

次に、 ②手立てがあればできる。

最後に ③一人でもできる。

とある先生の言葉

今やっている活動は
子供が将来幸せに生きるために
必要な活動ですか？

御清聴 ありがとうございます
